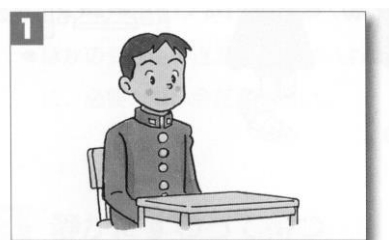


特集『面接ガイドPART3』

入室から着席までのポイント

- 1 <自分の順番になるまで、控え室で静かに待つ。>

- ・友だちと必要のない会話はしない。
- ・席を離れたり、悪ふざけをしない。
- ・うでや足を組まない。
- ・あくびや居眠りをしない。
- ・ボタンをはずしたり、服装を乱さない。



- 2 <自分の受験番号を呼ばれたら、「ハイ」と大きな声で返事をして立ち上がる>



- 3 <ドアの前に立ち、軽く3回ノックする。ノックする前に深呼吸を>



- 4 <面接官に「どうぞ」と言われてから、ドアを両手で静かに開ける。>
ドアを少し開けたら・・・
「失礼します」とハッキリと



- 5 <入室して一礼をする>
ドアは両手で、静かにきちんと閉める。
面接官の方に振り返り、一礼をする。
入室するときに、しきいを踏まない。



着席までのポイント

- 再4 「失礼します」と言って入室。
ドアを両手できちんと閉める。
大きな音を立てず、静かにしめる。
入室するときに、しきいを踏まないこと。



- 再5 ドアを閉めながら面接官を見ない。
閉め終わってから面接官の方を向いて一礼をする。
(後ろ手でドアを閉めない)
きちんとした姿勢で、椅子まで落ち着いて歩く。



- 6 椅子の左側まできたら、面接官の方を向き、姿勢を正して「受験番号と名前」そして「お願いします」と大きな声でハッキリ言って礼をする。
その後、面接官に「どうぞ」と言われてから「失礼します」と言って、椅子に座ること。



本番では、一本の道を通るだけである。
備えている時には、想定されるすべての道を通る。

本番では、足はくたびれるだけである。
足が丈夫になるのは、備えている時である。

むの たけじ「たいまつ」より

※「備え＝準備＝本番までの取り組み」が大切だと言っているのです！！
部活動でも、試験勉強でも・・・
足が丈夫になる（＝実力がつく）のは、備えている時